

研究課題名	日本における大腿骨近位部骨折の適正治療を目指した グローバルデータベースの作成
実施責任者	所属・職名： 整形外科・手外科 主任部長
	氏名： 熊谷寛明
研究の概要	大腿骨近位部骨折は脆弱性骨折のいわゆる終着駅ともいわれ、高齢化が急速に進行する中、世界的な規模での対策が求められている。日本脆弱性骨折ネットワークで大腿骨近位部骨折治療データベースを作製し、病院間、地域性、さらに国際的な比較を行い、我が国の治療の特色や課題について検討する。
対象となる個人情報	年齢、性別、受傷日時、受傷前の活動性、骨折のタイプ、 手術法、麻酔の種類、手術待機時間、退院等
実施の期間	西暦 2022年 8月 1日より
	西暦 2030年 3月 31日まで
研究対象	当院において大腿骨近位部骨折の治療を行った患者様